

牛久：学校周辺に見る自然

第9号 牛久二小

2020年4月20日発行

< 春の校庭 ～④雑草と虫・マメの仲間 >

皆さん、こんにちは。牛久二小の春の校庭「雑草とそこに来る虫たち」、今回はマメの仲間です。



シロツメクサなど、まだ花が咲いていないものは後日に紹介することにして、とりあえず花の咲いていたものだけを取り上げます。何度かご紹介していますが、カラスノエンドウにはアリやテントウムシなど、いろいろな虫がやっています。緑色や黒いアブラムシが、若い茎にびっしりついていることもあります。いったい何をしているのでしょうか？ アブラムシの口先を、じっくり見たことがありますか？ セミやカメムシと同様、針のように細長いです。アブラムシはこの口先をまだ柔らかい茎に突き刺して、栄養たっぷりの汁を吸ってしまうのです。だから、アブラムシに取りつかれると植物は弱ってしまうのです。そのアブラムシを食べてくれるのが、テントウムシ。幼虫も、アブラムシを食べます。では、アリは？いろいろ調べてみましょう。

【理科支援員：宮内】

カラスノエンドウ(左上)とその汁を吸うソラマメヒゲナガアブラムシ(右)。

アブラムシを食べるナナホシテントウ幼虫(左中)。これもマメの仲間、コメツツメクサ(左下)。